

技術士包装物流会関西支部 福喜多俊夫

<中国 EV 情報 67>では 2016 年 4 月に入手した中国政府諸部門やマスコミからの新エネルギー車、EV 情報を記載します。

### 1. 北京汽車が電動スーパーカーを開発 異国感漂う外観

中国メディアの報道によると、北京新能源汽車が、純電気スーパーカーを北京モーターショーで公開することがわかった。同モデルは 3 秒で時速 62 マイル（約 100 キロ）まで加速でき、時速は 160 マイル（約 257 キロ）、航続可能距離は 190 マイル（約 305 キロ）に達するという。（中国網 4 月 6 日）



### 2. テスラの廉価モデル、新型電気自動車「モデル 3」を発表

米国の電気自動車会社テスラモーターズの百万元（約 1700 万円）近い価格は電気自動車を希望する購入者をしり込みさせているが、現在、テスラは安価の入門モデルを発表した。テスラはこのほど「モデル 3」を正式に発表すると同時に公式ウェブサイトでのオンライン予約を開始した。車体価格は輸送費、税金を除いて 3 万 5 千ドル（約 385 万円）。北京日報が伝えた。

5 人乗りの「モデル 3」の車両の長さは「モデル S」より 20% 近くコンパクトになったことで BMW3 シリーズやアウディ A4 に近くなり、100 キロの加速は 6 秒、後続距離は約 346 キロにまで達している。また、ワイヤレス接続を備え、テスラは無線でソフトウェアアップグレードを使用しリアルタイムで自動運転等各種機能の更新が可能だ。

「モデル 3」は 2017 年末に生産を開始する予定だという。テスラは、まず最初に北米で販売開始し、米国西海岸から東海岸に向け順番に予約注文を受けた客に対して車両を引

き渡す。その後、徐々に欧州やアジア太平洋地域、右側通行の国で発売する予定だ。このほか、テスラスーパーバッテリー工場（Giga factory）が続々と生産開始されたことで電池生産コストが約 30% 削減したのも「モデル 3」の価格が比較的安価である主な要因である。（人民網 4月 5日）

### 3. ボルボ、自動運転車を中国で実証走行

スエーデンの高級車大手、ボルボ・カーは、中国で最大 100 台の自動運転車を実証走行させる。中国での自動運転車の規模では最大となる見通しで、実用化に向けたデータなどを集め開発の速度や精度を上げる。ボルボは浙江吉利控股集団の傘下という利点を生かし、世界最大市場の中国で他社に先駆ける。（日経 4月 9日）

### 4. 長安汽車の自動運転車、高速道路での走行距離が 1000 キロに

長安汽車が開発した自動運転車の高速道路試験は、14 日に 3 日目に突入した。走行距離は 1000 キロに達し、河南省鄭州市に到着した。長安汽車工学研究総院チーフエンジニアの黎予生氏によると、大巴山脈と秦嶺山脈を越えると、陝西省西安市から河南省三門峡市までの平野部の高速道路は起伏が緩やかになる。自動運転車は高速道路の速度上限である時速 120 キロで自動運転し、最高速度でのクルーズコントロール、交通渋滞時の補助、交通情報の識別、自動車線変更、非構造化道路での手動運転への切り替え通知といった各技術で、優れた成績を収めた。（人民網 4月 15日）

### 5. 安川電機、奇瑞汽車と合弁で EV 部品生産

産業用ロボット大手の安川電機は 18 日、中国でモーターなどの電気自動車（EV）用駆動部品の生産に参入すると発表した。現地の自動車大手、奇瑞汽車（安徽省）などと 6 月にも合弁会社（奇瑞安川電駆動系統）を安徽省蕪湖市に設立し、モーターなどを開発する。（日経 4月 19日）

### 6. 新エネルギー車に専用プレート

公安部が「微信」（WeChat）アカウントを通じて発表した「交通安全メッセージ」によると、同部は新エネルギー自動車の発展を一層促進し、新エネ車をよりはっきり区別しやすくするため、新エネ車を差別化する交通管理政策を実施することとし、これから新エネ車専用のナンバープレートを導入するという。同部交通管理局は事前に行った調査論証を基に、プレートのサンプルを数点デザインし、現在は公開で意見やアイディアを募ると同時に、サンプルの人気投票も行っている。（人民網 4月 19日）

### 7. トヨタ、中国で PHV 生産 18 年に、規制強化にらむ

トヨタ自動車は 24 日、2018 年にプラグインハイブリッド車（PHV）を中国市場に投入すると発表した。小型車「カローラ」「レビン」の 2 車種で現地生産に乗り出す。中国

への PHV 投入は日本メーカーでは初めて。拡大するエコカー市場の開拓を本格化し、中国政府による環境規制の強化にも対応する。（中国網 4 月 25 日）

#### 8. 中国産新エネ車、炭素繊維複合材料の採用で軽量化へ

超軽量の炭素繊維複合材料がまもなく多くの中国産新エネ車に採用される見通しだ。康得複合材料有限責任公司はこのほど、北京汽車、蔚来汽車、上海汽車など完成車メーカー14 社とコンソーシアムを発足し、炭素繊維複合材料の自動車軽量化への応用を共同推進することを決定した。同社はまた北京汽車と戦略的提携関係を結んだ。北京日報が伝えた。（人民網 4 月 28 日）

以上